



2025 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 シンプレクス・ホールディングス株式会社
代表者名 取 締 役 社 長 金 子 英 樹
(コード番号：4373 東証プライム市場)
問合せ先 取 締 役 C F O 江 野 澤 慶 亮
(T e l . 0 3 - 3 5 3 9 - 7 3 7 0)

第 2 四半期（中間期）業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 4 月 30 日に公表した 2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）業績予想及び通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 中間利益	基本的 1 株当たり 中間利益
前回発表予想（A）	百万円 26,250	百万円 5,655	百万円 5,569	百万円 3,843	円 銭 67.30
今回修正予想（B）	27,250	6,470	6,455	4,418	77.37
増 減 額（B－A）	+1,000	+815	+886	+575	+10.07
増 減 率（%）	+3.8%	+14.4%	+15.9%	+15.0%	+15.0%
（ご参考）前期実績 （2025 年 3 月期 第 2 四半期）	21,876	3,915	3,879	2,594	44.52

2. 2026 年 3 月期 通期業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
前回発表予想（A）	百万円 54,500	百万円 12,700	百万円 12,536	百万円 8,650	円 銭 150.83
今回修正予想（B）	55,500	13,400	13,307	9,146	159.48
増 減 額（B－A）	+1,000	+700	+771	+496	+8.65
増 減 率（%）	+1.8%	+5.5%	+6.2%	+5.7%	+5.7%
（ご参考）前期実績 （2025 年 3 月期）	47,394	10,804	10,729	7,781	133.82

3. 修正の理由

(1) 第2四半期（中間期）

底堅い DX 需要を背景として、生産能力の向上が売上拡大に直結する事業環境が継続しております。こうした旺盛な需要を踏まえ、第1四半期においては、前期下期に実行した戦略の延長として、研究開発のエンジニアリソースを、顧客企業向け案件へ重点投入するという状況が、想定以上に継続することとなりました。その結果、第1四半期の売上収益及び営業利益は、期初計画を上回るペースで推移しました。

第2四半期（中間期）の売上収益については、この第1四半期の実績に加え、足元の事業環境が引き続き好調に推移していることから、前回発表予想を上方修正いたしました。

利益面では、売上総利益率を期初計画通りとする一方、増収に伴う売上総利益の増加を見込んでおります。また、販売費及び一般管理費は期初計画を約1億円、研究開発費は期初計画を約2.5億円下回る見通しです。以上を踏まえ、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する中間利益、基本的1株当たり中間利益をいずれも前回発表予想から上方修正いたしました。

(2) 通期

通期の売上収益は、下期を期初計画どおりとしつつ、第2四半期（中間期）の上振れ分を反映して前回発表予想から上方修正いたしました。

利益面では、第2四半期（中間期）の上振れ分を織り込んだうえで、下期の売上収益、売上総利益率、研究開発費を期初想定どおりとする一方、下期の販売費及び一般管理費が期初計画を約1億円上回る見通しです。これらを踏まえ、通期の営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、基本的1株当たり当期利益をいずれも前回発表予想から上方修正いたしました。

※ 本資料に記載している基本的1株当たり中間利益及び基本的1株当たり当期利益は、新株予約権の行使により、期中平均株式数が2025年3月期の期末発行済株式数（自己株式を除く）からそれぞれ151,630株、398,621株増加すると仮定して算定しております。

※ 本資料に記載されている当社グループの業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上